

R7.9

舞鶴ふるさと発見館

舞鶴市郷土資料館だより

★舞鶴市内の学生は入館無料です★

企画展開催中！

昭和は1926年から1989年まで続いた日本の元号で、日本の元号のなかでは最も長く続いた時代です。2025年はその昭和100年に当たります。舞鶴市は明治34(1901)年舞鶴鎮守府開庁以来の海軍の拠点として発展してきた軍港都市です。しかしその土地利用状況を見ると、そのほとんどが昭和の時代に旧軍用地となったことがわかります。



プラスチック看板「グリコアイスクリーム」
※サロンスペースにて展示

舞鶴市は第2次世界大戦の後80年、20,446千㎡にも及ぶ戦争遺跡の平和利用に向けて取り組んできた歴史を持ちます。本展では、戦後すぐに作成された貴重な旧軍施設の図面とその後の活用の経過を展示し、軍港都市舞鶴の100年を振り返ります。



五老ヶ岳防空砲台図面

軍港都市舞鶴の100年



ミュージアム
トーク

9/21(日)

13:30~14:30

企画展をたのしむ！トーク

展示室/サロンスペースにて実施

★参加費無料

★ミュージアムトーク参加者は入館無料

★サロンスペースは「舞鶴100年年表」の展示です



ホーロー看板「オロナミンCドリンク」
※サロンスペースにて展示



五老ヶ岳公園

糸井文庫コーナー 9月のテーマ

糸井文庫は糸井仙之助が集めた丹後関連資料（約2200点）です。
中でも丹後の伝説を描いた浮世絵が約200点あります。そこで、当館では毎月テーマを決めて糸井文庫の浮世絵を紹介しています。

狂歌×浮世絵

きょうか×うきよえ



「評判記当ル絵合」 3代目歌川豊国 糸井文庫

今月のテーマは「狂歌×浮世絵」です。「狂歌」^{きょうか}は、伝統的な和歌（五・七・五・七・七）の形式を踏まえながらも、滑稽さや風刺、ユーモアを盛り込んだ短歌です。狂歌摺物や浮世絵に書かれた狂歌をのぞいてください。

発見館学芸員より

★西舞鶴駅から徒歩10分★



舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）

開館時間 9:00～17:00（最終入館16:30まで）

今月の休館日

1日（月）・8日（月）・16日（火）・17日（水）・22日（月）
24日（水）・29日（月）

〒624-0853

舞鶴市字南田辺1番地

西総合会館 1F北側

TEL 0773-75-8836 FAX 0773-77-1314

入館料

大人 100円

舞鶴市外の学生
50円

★舞鶴市内に居住または通学する学生は入館無料です★